



平成27年度兵庫県立南但馬自然学校事前説明会を開催

平成27年4月14日（火）に、本校において自然学校事前説明会を開催したところ、年度初めの大変お忙しい時期にもかかわらず、72校86名の先生方にご参加いただきました。ありがとうございました。



参加いただいた先生方には、より南但馬自然学校を知っていただき、各学校のねらいに沿った活動内容や活動形態を考えてもらうためにも、午前中は、「プログラムデザイン

ン」と「施設案内」、午後からは「施設利用」と「健康安全」についての説明、そして、選択活動として、「ロープワーク」と「竹伐採（雨天のため、できませんでした）」と「竹箸づくり」を体験してもらいました。「施設利用」の中で、「隠れ家づくり」を行う際、児童と指導者には、ヘルメットの着用をお願いしました。昨年度、ブランコや丸太が頭部に当たる、2段目からバランスを崩して転落するという事案がありました。安全対策としての処置ですので、ご理解ください。また、「キャンプファイヤー」のことで伝え漏れていたことがあります。指導補助員によるパフォーマンスが行われる場合があります。その中で、児童の前で行うにはふさわしくない行為や危険を伴う行為がないか事前に確認をして、ご指導してまいりますようお願いいたします。



「健康安全」では、食物アレルギーの対応についても説明しました。代替食を希望される場合は、食べられない食品に×印を入れた食事メニュー献立表とともに食事注文書を提出ください。特に難しい対応が予想される場合は、1か月以上前にご相談ください。



「ロープワーク」と「竹箸づくり」では、先生方が活動されている様子から、子どもと同じ目線で、楽しんでいたように感じました。自分自身が楽しい、面白いということを感じることによって、子どもたちへの伝え方にも熱がはいっているのではないのでしょうか。あわせて、指導者である以上、リスクマネジメントについては、常に考えていただきたいと思います。今回、先生方が体験することで、子どもたちなら、こんな怪我をするのではないか、こんな危険が



隠れているのではないかという事が分かったと思います。子どもたちの怪我を未然に防ぐ手立てについて、再度考えていただきたいと思います。

閉会の時に「子どもたちの実態を把握していただきたい」というお話をしました。日々の授業や学級経営をする時、子どもの実態に合わせて行っていると思います。自然学校はどうでしょうか。自然学校に対する先生方の強い思いがあっても、子どもたちの実態とかけ離れていては、子どもたちの成長は少ないでしょう。「平成25・26年度研究紀要」を各校に送付していますが、その中に資料として「原体験アンケート」があります。これを活用していただき、子どもたちの自然体験に関する実態を把握し、アンケート結果から子どもたちに不足している活動を、自然学校期間中に取り入れてください。その活動は、子どもたちの行動をよくするための一つのきっかけとなるはずです。自然学校のねらいや目的が前年度と変わることがあるかもしれませんが、今年の5年生の実態に合う自然学校を作り出してください。

～ 参加された先生方のアンケートから（一部抜粋）～

- 実技指導等させていただいて良かったです。
- 実際に子どもたちが体験することが学べたので、指導のポイントが分かった。
- 経験者が研修を選択できたことが良かった。
- 何度も利用している学校が午後からでよくなったのは、すごく良かったです。
- このプログラムであれば午後からでも可能かと思います。開会行事や説明会、体験活動、全ての時間が長時間過ぎると感じます。
- ロープワークに参加しましたが、とても私自身が楽しむことができました。子どもたちはもっと楽しいのであろうと、自然学校が楽しみになりました。
- （利用校が）一斉に揃う日なので、自由に同一週で調整する時間をとってほしいかもしれません。
- 学校同士の打ち合わせをもう少し早く始めさせてほしい。
- 竹田の町の散策（ウォークラリーをさせる際の下見や良い活動例の紹介、ウォークラリーをする際のアドバイスを頂ければうれしい）
- 夏休み等にしてもらいたい。

いただいたご意見を参考にして、来年度の事前説明会がより充実したものになるよう努めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

編集後記

本校利用校に県立南但馬自然学校の情報を提供しようと考え、この「指導課だより」をメール送信しています。月1回のペースで発行する予定です。次回からは、自然学校期間中のトピックスを予定しています。（文責 主任指導主事兼指導課長 御栗 康嗣）